

2021 春  
Vol. 10

桃園ジャーナル

区議会レポート

# すぎやまつかさ 杉山司

2018年6月10日初当選、現在2期目  
中野区議会議員

1970年3月28日愛知県生まれ 山梨大学工学部卒 サラリーマン出身 中野区観光協会理事  
中野経済新聞編集長 中野桃園商店街・中野駅南口レンガ坂・中野ブロードウェイ応援大使

立憲民主党  
The Constitutional Democratic Party of Japan



新型コロナ関連

※背景は、桃園稲荷の行灯祭の様子

発行元: 立憲民主党・無所属議員団 〒164-0001 中野区中野4-8-1 (区役所3F) Tel 03-3228-8876 / Fax 03-3389-8718  
連絡先: 杉山司事務所 〒164-0001 中野区中野3-27-9 桃園ハウス e-mail は sugiyama@sugiyamatsukasa.jp

## 中野駅新北口駅前エリア拠点施設整備の民間事業者募集選定結果と質問

施行予定者候補の提案した  
NAKANOサンプラザシティ



施工予定者候補は野村不動産(株)

1月29日の中野駅周辺整備・都市観光調査特別委員会で「中野駅新北口駅前エリア拠点施設整備民間事業者募集の選定結果について」の報告、いわゆる「区役所・サンプラザ」エリアの協力企業団体が決定。提案事業者の1位が野村不動産を代表事業者としたグループ、2位が東京建物を代表事業者としたグループという結果でした。

しかしながらこの業者選定手法に関する疑問や今後の協定締結内容などの心配が残るので、令和3年第1回定例会予算特別委員会の総括質疑で、質問をぶつけています。

重点評価項目に「シンボルとなる新たな文化、芸術などの発信拠点の形成」とあるが、区が選定した審査員は建設・建築系ばかりで文化・芸術は正しく判断できたのか？

提案書に架かれている拠点施設1万9千平米、延べ床面積25万7千平米、高さ235メートル、多目的ホールやホテルの部屋数などのスペック、事業計画などが協定書に紐づいた形で締結されなければならない。

100年に1度、1810億円の巨大プロジェクト。施工予定者候補が有利にならぬよう慎重に取りこぼしのない協定の締結が必須。

R11年完成までのエリマネも大事

中野サンプラザの解体は令和6年から始まり、市街地再開発事業工事開始は令和7年あたり、令和11年の後半にはシンボル施設を含む「NAKANO サンプラザシティ」が完成するというスケジュール。区民も経済界もこの期間は気持ちが沈んでいる。

拠点施設完成後も、そして完成までの期間もエリマネの推進活動が重要。

## 杉山司プロフィール ※趣味は…戦国史・城下町・家紋・工芸美術・ロック・中国語

- 1970年3月28日愛知県岡崎市生まれ豊田市育ち。東中野在住歴20年。事務所は中野3丁目。
- 国立山梨大学工学部電気工学科卒。大学時代はアメフトに没頭、卒論は量子力学。
- 1993年に東証1部上場の日本システムウエア株式会社に入社、2008年最年少営業統括部長。
- 長男誕生で子どもとの時間を多く確保したいと思い、2010年にIT企業を設立し独立。
- 2012年、中野経済新聞創刊で編集長に就任。中野区観光協会理事、中野区ものしり博士。
- 桃園商店街・レンガ坂・中野ブロードウェイ応援大使。桃園町会理事（夜警部長を拝命）。
- 2018年6月の中野区議会議員補欠選挙で議席を賜り、2019年4月に再選。現在2期目。
- 建設委員会と交通対策調査特別委員会（副委員長）、中野区国際交流協会（ANIC）評議員。



※杉山司の活動軸、5つのポイント！

- 多種多様な人たちが自然体で過ごせる街を。
- 零細企業や飲食店がチャレンジできる場を。
- 皆が守りたいと思うものが守られる社会を。
- 日の光が当たりづらい頑張り屋さんに光を。
- 子どもたちそれぞれが学びやすい教育環境を。

### 桃園ハウス

【杉山司事務所】

お気軽にお立ち寄りください。

〒164-0001 中野区中野3-27-9 杉山司事務所  
tel 050-8882-9154 / fax 050-3730-9838  
e-mail sugiyama@sugiyamatsukasa.jp



中野駅南口から  
徒歩5分くらい